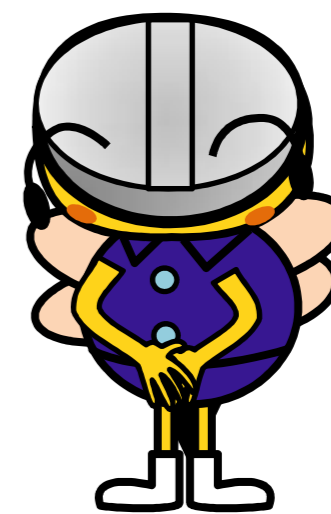


ペットボトルによる廃液保管及び運搬の注意及びお願い

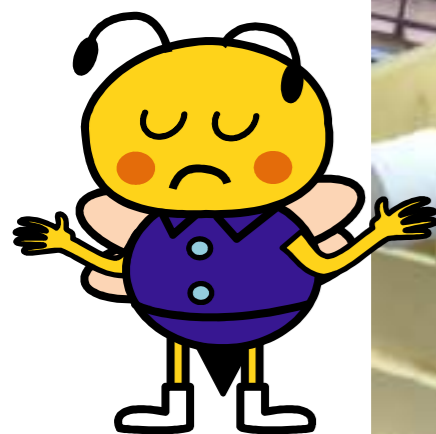
近年、ペットボトル容器に入った廃液の取り扱いが増えて来ています。
自社に入ってきて来たペットボトル容器が破損漏洩事故となっております。



処理をしようと段ボールを動かすと
そこには液漏れの痕跡が！



段ボールの中には、
他の薬品も入っているので
化学反応が起きたら
大変です!!!

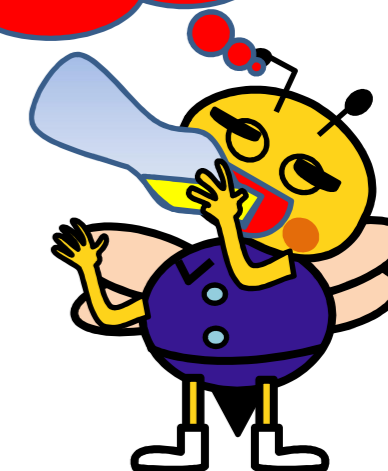
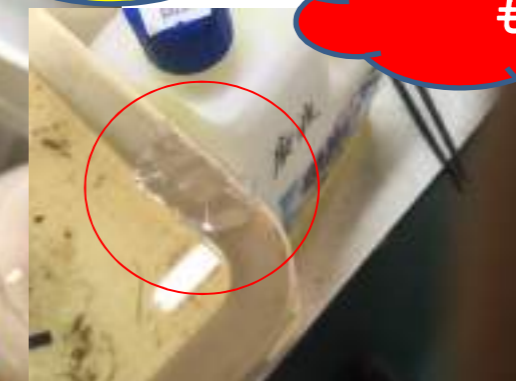
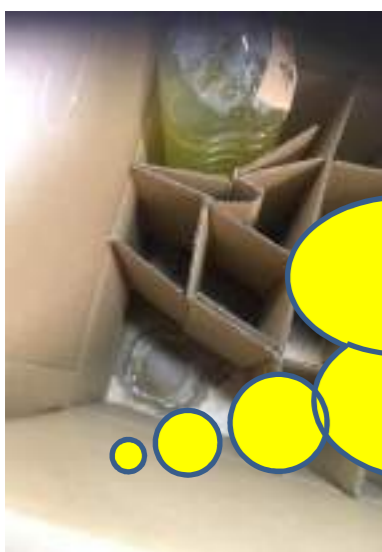


こちらの熊の絵が付いた
『水酸化ナトリウム』
ペットボトルは
なんと底が抜けて、
360mlは全て無くなって



間違っ
て飲んでしま
うかも!!!

段ボールの中に
ペットボトル容器に
入った薬品が2本も！『アルカリ』
と記載のあるペットボトルが破損して
漏洩していました。



東京消防庁からの事例でも近年ペットボトルによる事故の対応等が増えているようです。

- ・家庭で、ドライアイスを入れてペットボトルに入れてと言う行為が多いようです。

事故事例

- ペットボトルにドライアイスと少量の水を入れて遊んでいたところ、ペットボトルが破裂し左手の親指を切った。
【平成29年6月 13歳男児 軽症】
- 孫がドライアイスを入れて振って遊んでいたため、危険だと思い取り上げた際に、急にペットボトルが破裂し両掌を受傷した。
【平成29年9月 58歳女性 軽症】
- 水を入れたラムネの空き瓶にドライアイスを入れたところ、ラムネの瓶が破裂して破片が当たり受傷した。
【平成27年5月 66歳男性、5歳女児 いずれも軽症】
- 父親と息子の二人で入浴中、ドライアイス洗面器に入れ遊んでいた。小さくなったドライアイスラムネの瓶に入れた後、瓶が破裂し受傷した。
【平成26年11月 42歳男性、7歳男児 いずれも中等症】

- ・家庭で自家製の石鹼を作ってペットボトルに入れておく(余った薬剤も)
破裂、底が解ける等。

国民生活センターには、飲み残しの入っていたペットボトルが破裂した・キャップが飛んだ等の問い合わせが多いようです。

東京消防庁からの呼びかけ

※専用容器以外へ移し替えや詰め替えの危険

平成24年10月に東京消防庁管内で、アルミニウム製の飲料用容器に業務用洗剤を入れたことにより缶が破裂し、複数の受傷者がでる事故が発生しました。この事故は、勤務先で使用していた業務用洗剤(アルカリ性)をコーヒー缶(アルミニウム製)に移し蓋をして持ち帰る途中で、洗剤の成分とアルミニウムが化学反応を起こし、発生した水素ガスが密封された缶の中に溜まり、缶の内圧が高まり破裂したものです。

※洗剤の移し替えの危険性

洗剤は性状等を考慮し、洗剤の変質や容器の腐食などがないように、様々な安全対策に基づき専用の容器に入れ販売されています。このため、小分けや保管のために専用容器以外へ移し替えることは想定外の事故を引き起こすことがあります(表1)。

表1: 専用容器以外への移し替え危険

専用容器以外への移し替え		危険性
容器の材質	洗剤	
アルミニウム	アルカリ性洗剤	洗剤の成分とアルミニウムやスチールとの化学反応により、水素が発生する。
		1 蓋などで密封された容器は、破裂する危険がある。
アルミニウム	酸性洗剤	2 密封されていない容器は、容器が溶解し洗剤が漏れ出ることがある。
スチール	酸性洗剤	3 飛び散った、または、漏れ出た洗剤によるやけどの危険がある。

塩素系洗剤は専用容器以外への移し替えや詰め替えは厳禁

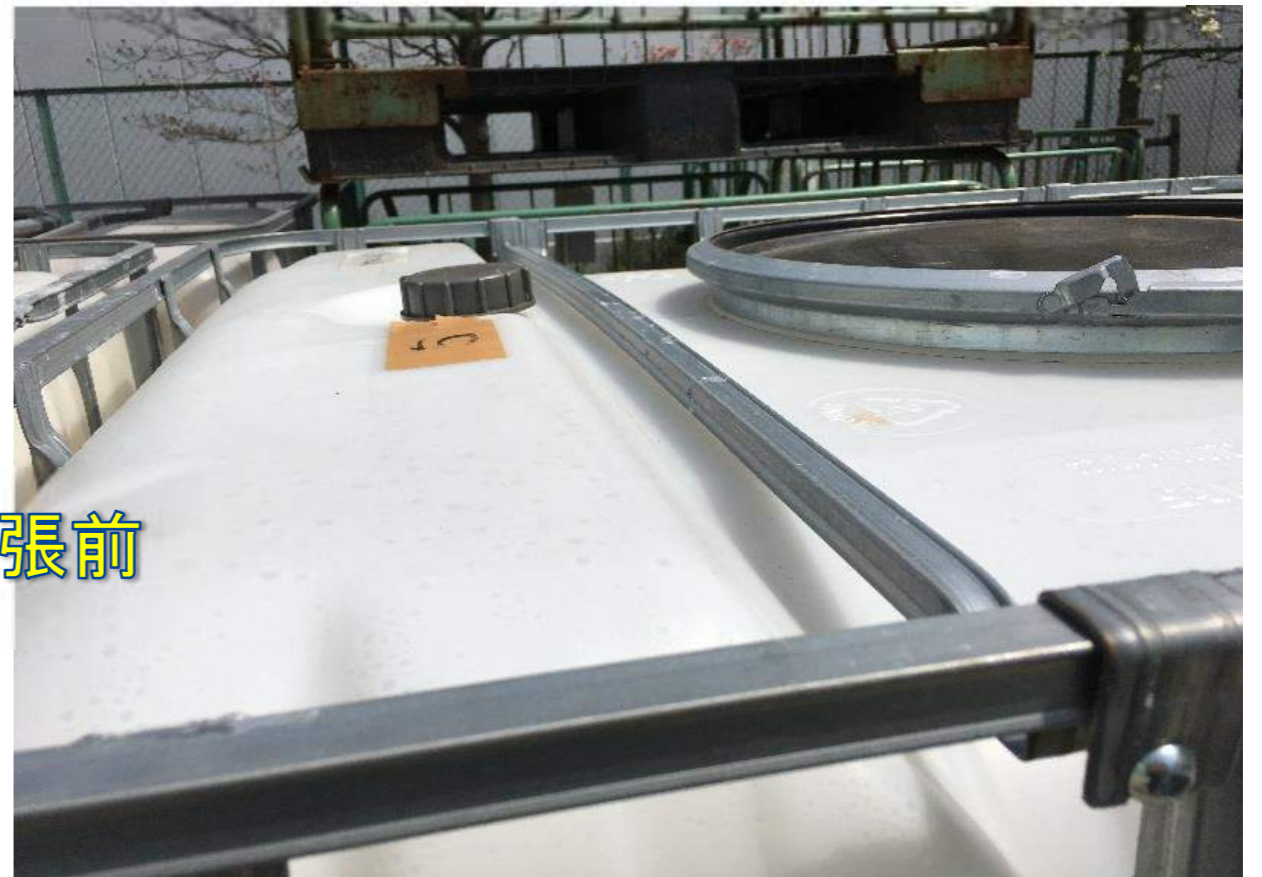
廃棄薬品等の保管及び廃棄は専用の容器をご使用下さい！

運搬時に廃液が攪拌され化学反応が起きる事もあります。

輸送用タンクでも膨張すると...ペットボトルでは...破裂！！！！



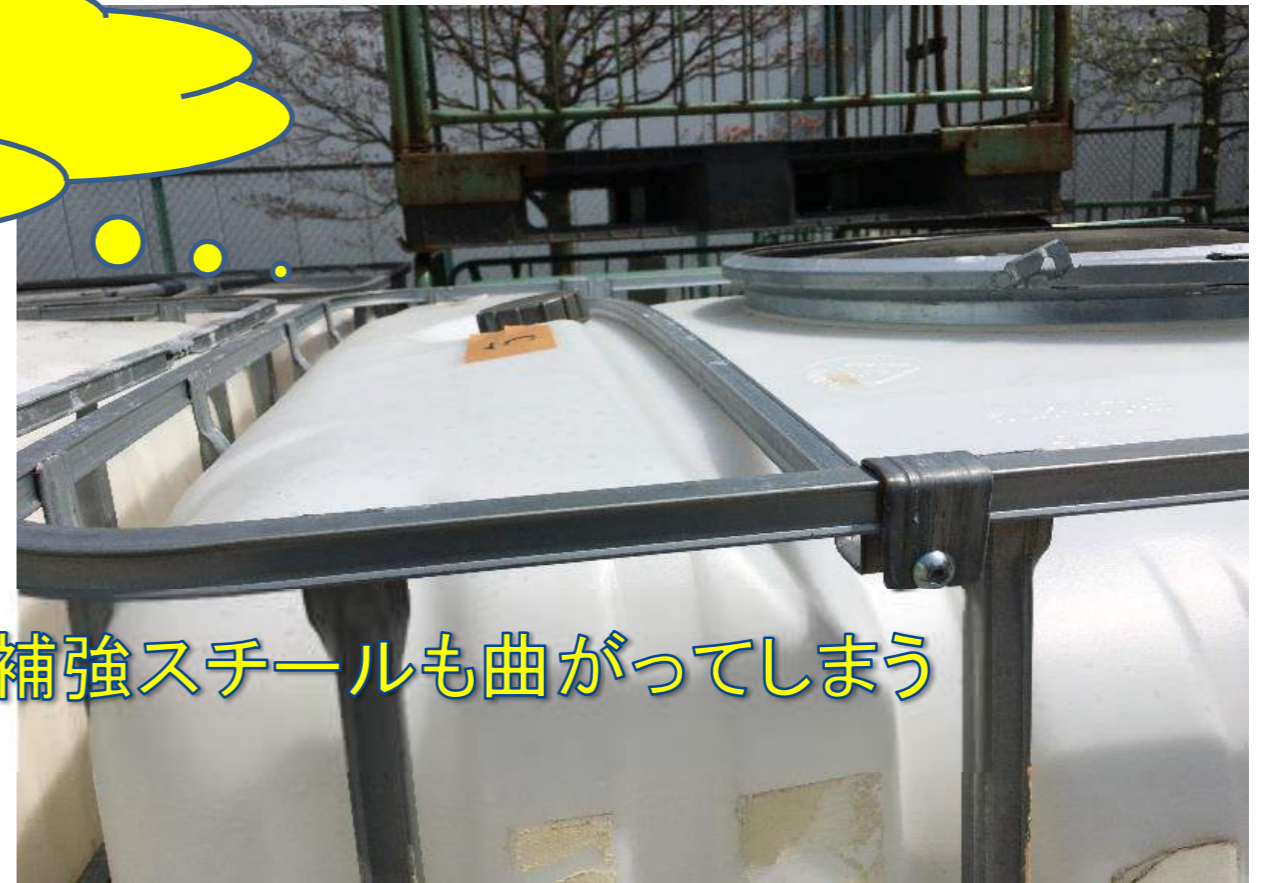
輸送用1tタンク膨張前



エア抜きキャップが圧力で回らなくなる事が有ります。



気温が上がり輸送用1tタンクが膨張した時、補強スチールも曲がってしまう



株式会社 八子オウ